

約束された最上質な音楽の感触 ピアノ、室内楽は彩の国音楽ホールで

ソリストたちの繊細な息づかいまで感じ取れる、604席のシューボックス型のホール。ピアノの名演が生まれてきた伝説のホールでは、声楽や室内楽にも展開。このシーズンはさらに充実したラインアップだ。
文=片桐卓也 (音楽ライター)



“ピアノ・エトワール・シリーズ” 未来の空に煌めく星たちを集めて

「エトワール」とはフランス語で「星」を意味する。またバレエの世界では「最高位」を意味する言葉でもある。ピアノ・エトワール・シリーズは、若手ピアニストの期待の「星」を集めているが、きっと彼らは将来において、ピアノの世界の「最高位」に到達するであろう才能の持ち主たちである。

ラファウ・ブレハッチで始まったこのシリーズは、9月イリヤ・ラシュコフスキー、11月にはデイヴィッド・グレイルザンマー、12月には小菅優が登場する。

11月に登場するグレイルザンマーだが、1977年イスラエル生まれで、アメリカで学び、活動を続けているピアニスト。指揮も学んだ経歴を活かし、モーツァルトの初期ピアノ協奏曲の録音でも注目を集めた。モーツァルトの《幻想曲》「トルコ行進曲付きソナタ」が入ったプログラミングだ。

12月の小菅優は、すでに「ピアニスト100」シリーズでも彩の国に登場した。ドイツで学び、現在もザルツブルクで研鑽を積むピアニストだが、10代の時からドイツで天才ピアニストとして注

目された。2006年には、日本人として内田光子以来となるザルツブルク音楽祭へのリサイタル・デビューを大成功させたことも記憶に新しい。

このシリーズで特に注目したいのは、彩の国さいたま芸術劇場でしか聴く事の出来ないプログラミングである。グレイルザンマーはオランダのバロック期の大作曲家スヴェーリンクから現代のリゲティまで、まるで音楽史のような選曲。また小菅優は、バッハの《インヴェンションとシンフォニア》とリストの名曲を組み合わせたもの。それぞれが自分の個性にあった、そしてユニークな曲目を選んでいることが興味深い。



Vol. 1
ラファウ・ブレハッチ
【日時】6月17日(土)
【曲目】J. S. バッハ:イタリヤ協奏曲
ショパン:24の前奏曲(全曲)他



Vol. 2
イリヤ・ラシュコフスキー
【日時】9月8日(土)
【曲目】ブラームス:バガニニの主題による変奏曲(全曲)
ワーグナー(リスト編曲):イゾルデの愛の死 他

ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.4
小菅優 ピアノ・リサイタル
【日時】12月9日(日) 開演 15:00
【会場】彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
【曲目】J. S. バッハ:インヴェンションとシンフォニア BWV772-801
リスト:ピアノ・ソナタ 短調 S178
ノクターン「夢のなかに」 S207
【チケット(税込)】好評発売中
一般:S席3,500円/A席2,500円/学生A席1,000円 メンバース:S席3,150円



ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.3
デイヴィッド・グレイルザンマー ピアノ・リサイタル
【日時】11月23日(金・祝) 開演 14:00
【会場】彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
【曲目】スヴェーリンク:わが青春はすでに過ぎ去り
ケレン:ファンタジー、とはいえ2つのファンタストロフ(日本初演)
モーツァルト:幻想曲 八短調 KV475 ヒナステラ:アルゼンチン舞曲 Op.2
リゲティ:《ムジカ・リチエルカータ》より6つの楽章
モーツァルト:ピアノ・ソナタ第11番 イ長調 KV331(300i)「トルコ行進曲付き」
グラナドス:《ゴイエスカス》より(愛と死(バラード))
【チケット(税込)】好評発売中
一般:S席3,500円/A席2,500円/学生A席1,000円 メンバース:S席3,150円

Vol. 3



デイヴィッド・グレイルザンマー

1977年エルサレム生まれ。6歳でアメリカ・イスラエル賞受賞。兵役後、ジュリアード音楽院で指揮とピアノを学ぶと同時に、R. グードに師事。2006年にリリースしたSuedama アンサンブルとのモーツァルトの初期協奏曲 (Vanguard Classics:ATM CD 1789) は、ル・モンド等主要メディアから高く評価された。07年8月、ソロCD「ファンタジー=ファンタズム」(Naive:V5081)をリリース。



Vol. 4

小菅優

1983年東京生まれ。93年よりヨーロッパに住み、研鑽を積みながら次々と演奏活動を重ねる。2000年、ドイツ最大の音楽批評誌「フォノ・フォルム」でショパンの練習曲全曲録音に5つ星の評価を得る。06年8月にはザルツブルク音楽祭で日本人ピアニストとして2人目となるリサイタル・デビューを果たし、大成功を収めた。02年第13回新日鉄音楽賞、06年第8回ホテルオークラ音楽賞、07年第17回出光音楽賞受賞。

小菅優、今回のプログラムに寄せる思い

バッハの《インヴェンションとシンフォニア》は5、6歳のときに全曲勉強したことがあります。曲によっては、何度も何度も各声部を練習したり、歌ったりしたこともあり、自分にとってポリフォニーや舞曲の形式を勉強する第一歩だったと思います。最近バッハをプログラムに入れてませんでしたので、これを機に、もう一度バッハを最初に戻って研究したくなりました。

バッハはもちろん、たくさんの後世の作曲家に影響を与えていますが、特にリストは、バッハ作品のトランスクリプションや《BACHの名による前奏曲とフーガ》を書いていて、バッハへの尊敬を感じます。リストはソナタの中でもフーガを用いるなど、ロマン派らしくソナタ形式にとられない自由な形式でありながら、最後には中世からあるポリフォニーに戻る多彩さが面白いと思います。

彩の国さいたま芸術劇場の音楽ホールでは、以前コンサートを行った事がありますが、とても弾きやすく演奏に集中出来るホールです。特にピアノシモの音を限界に至るまで弱く弾いても、ホールの後ろまで届いているのが分かります。お客さまと一体となった素敵な雰囲気を感じられるホールで、再び演奏出来るのが楽しみです。

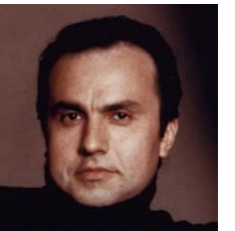
★ ブロンフマンの登場、 ★ 児玉 桃のメシアン・プログラムにも注目

★ 彩の国さいたま芸術劇場の音楽ホールはピアノや室内楽に最適な空間である。★ ステージに近い席で、優れた演奏家のかもし出す音楽を聞くという★ ことは、東京の大ホールでは味わえない醍醐味だ。その代表的な例★ が、11月に行われるイェフィム・ブロンフマンのリサイタル。ブロンフマン★ はザルツブルク音楽祭などの常連で、日本でもゲルギエフ指揮ウィーン・★ フィルと共演するなど、世界的ピアニストのひとり。大ホールを満員にする★ ような実力派を、この音楽ホールの親密な空間の中で聴くということは、★ まさに贅沢の極みである。今回のプログラムも多彩だが、中でもバラ★ キレフの「イスラメイ」はピアノ音楽史上、最もテクニク的に難しいとされ★ る曲。それをブロンフマンが演奏するのを間近に見られるのである。

★ ピアノの演奏会に関しては、さらに話題も多い。2008年3月には児玉★ 桃がフランスの作曲家オリヴィエ・メシアン(1908~1992)の作品を中心★ にした演奏会を開く。2008年はメシアンの生誕100年にあたる。以前、★ メシアン没後10周年の時に、児玉が演奏した《幼児イエスにそそぐ20★ のまなざし》の全曲演奏は強く記憶に残るものだった。今回はヴァイオリ★ ンの戸田弥生も参加し、メシアンの《ヴァイオリンとピアノのための幻想★ 曲》が日本初演となる、貴重な演奏会となる。

★ イェフィム・ブロンフマン

★ 1958年、旧ソ連タシケント生まれ。今日、最も才能ある一人として広く認め★ られており、その素晴らしいテクニクとリリカルな音楽は世界中で聴衆★ を魅了している。名だたる一流指揮者やソリスト達から共演依頼が絶えず★ 舞い込み、オーケストラとの共演、室内楽、リサイタルで活躍。各地の主要音★ 楽祭からも度々招かれている。レコーディングはソニー・クラシカルから10★ 数枚リリースされている。



★ 児玉 桃

★ 大阪生まれ。1歳で渡欧し、幼少よりパリ国立音楽院教授ムニエ女史に師★ 事。13歳の時、最年少最優秀でパリ国立音楽院に入学。16歳でピアノと★ 室内楽のクラスを審査員全員一致のブルミエ・プリで卒業。セニガリア、★ エピナール両国際コンクール第1位。ミュンヘン国際コンクールに最年★ 少の19歳で第2位(1位なし)。1994年度アリオン奨励賞、97年第7回出★ 光音楽賞。現在パリを拠点に、バッハからメシアンに至る幅広いレパート★ リーで活躍の場を広げている。

★ イェフィム・ブロンフマン ピアノ・リサイタル

★ 【日時】11月10日(土) 開演 15:00
★ 【会場】彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
★ 【曲目】ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ第7番 二長調 Op.10-3
★ シューマン:ウィーンの謝肉祭の進化 Op.26 ラヴェル:夜のガスパール
★ バラキレフ:東洋風幻想曲「イスラメイ」Op.18
★ 【チケット(税込)】好評発売中
★ 一般:S席5,000円/A席3,000円/学生A席1,500円
★ メンバース:S席4,500円/A席2,700円

★ 児玉 桃 ピアノ・リサイタル ~メシアン生誕100年を記念して~

★ 【日時】2008年3月1日(土) 開演 14:00
★ 【会場】彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
★ 【出演】ゲスト=戸田弥生(ヴァイオリン)
★ 【曲目】メシアン:《鳥のカタログ》第12番(くるさばくひたき) ラヴェル:夜のガスパール
★ メシアン:《幼児イエスにそそぐ20のまなざし》より 第10番《喜びの聖書のまなざし》ほか
★ 【チケット(税込)】一般:S席4,000円/A席3,000円/学生A席1,000円
★ メンバース:S席3,600円/A席2,700円
★ 【発売日】一般:10月14日(日) メンバース:10月6日(土)